

JFN賞
2019

奨励賞



企画部門 番組
K-mix



K-mixアーティスト ひな祭りコンサート “ピアノのまちからこんにちは”

受賞コメント

【担当者】 久保田 克敏

2005年頃より、「自社制作によるアーティスト番組の制作・編成とそこから派生する様々な事業展開」に取り組んできた、ひとつの通過点であり成果が今回の企画だと認識して出品したので、それを認めていただいたことに大変感謝しております。

エピソード

バンドと違って“群れること”を嫌うシンガー・ソングライターが7人も集まって、果たしてコミュニケーションがうまく取れるのか?と周囲から言われ続けたが、7人全員が「K-mix」という旗印の下、気持ちをひとつにくれたので、そんな心配は徒労に終わりました。

KAWAIIの担当者が、コンサートが終わった後、「今日、ピアノが一番喜んでると思いますよ!」とカッコいいことを言い放ったので、出演者共々ニコニコしていました。



申請ポイント

- ① 最高級グレードピアノの響きを来場者、アーティスト本人たちも楽しむことにより、「音楽のまち」「ピアノのまち」のエホツク・メイキングなコンサートになったと確信したこと。
- ② さわめて個人的な思いではありますが、「女性ピアノ弾き語りシンガー・ソングライター」という言葉を持つ、とても魅力的なイメージを31年間追い続けてきた結果が、個人的な満足に収まることなく、K-mix特徴づける企画に昇華したと思つたこと。